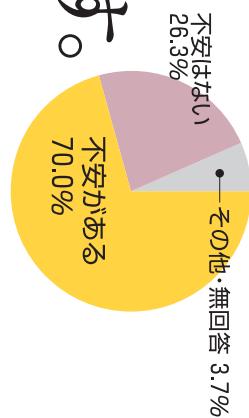


市民の70%は不安に思っています。

08.3実施「市民アンケートより」



原子力空母のメンテナンス工事で1トンの放射性廃棄物が運び出された



- 原子力空母のメンテナンス工事で、放射能を帯びた物質は原則として艦外に搬出しない、と書かれているのですから。
- 明確な約束違反や小さな疑問にも、毅然とした態度で国や米軍に説明を求め、言うべきことは言う。これは安全対策の基本です。しかし、現状の市の姿勢はどうでしょう。国にものが言えない人では、市民は不安です。

安心して暮らせる町づくりには、国や米軍の話を伝えるだけではなく、しっかりものが言える人が必要です。

住民の声を市政に!

- 「市民の声を政治に反映してほしい」。この当たり前の思いを実現するためには、住民投票条例の制定が大切です。吳東弁護士は、常設型の住民投票条例を提案しています。



市民の力で
やめよう

やめよう 横須賀

あなたは、どんな街に暮らしたいですか。

市民みんなの力で市政をつくる会

〒238-0004 横須賀市小川町19 小川町ビル2階
ホームページ●<http://kawaruyokosuka.web.fc2.com/>
TEL.046-825-9844 FAX.046-825-9866



市政を
変えよう
第8号 | 2009.5.15
発行 ● 市民みんなの力で市政をつくる会
〒238-0004 横須賀市小川町19 小川町ビル2階
TEL.046-825-9844 FAX.046-825-9866

「市民みんなの力で市政をつくる会」は4月27日に、
「第一次マニフェスト」を発表しました。

1 地域循環経済による活性化

ムダな支出をカットし、地域経済・雇用改善・福祉に重点的に回し、市と市民が一体となって英知を集め、活性化を図ります。

2 市民をサポートする優しい市政

市民・専門家・行政によるセーフティネットを強化し、街に出て市民の緊急課題の解決をサポートします。

3 徹底的システム改革

町の将来を市民が決めるように、常設型住民投票条例を制定します。市民参加による市政の徹底的システム改革を行います。

4 市政はもっと色々なことができる

市民の切実な問題（例えば通勤地獄、慢性渋滞）解決のため市民委員会をつくり、行政がバックアップします。市が市民の立場に立って、国政に対しても、国際的にも動きかけをします。

5 市の財政改革

巨大ハコモノは作らず。ムダな支出を削減。削減分は福祉等に充て、且つ借金構造にメスを。

6 原子力空母母港見直しのためにあらゆる努力

市民の安全を最優先。原子力空母の母港撤回に向けた見直しのため、あらゆる選択肢の追求。

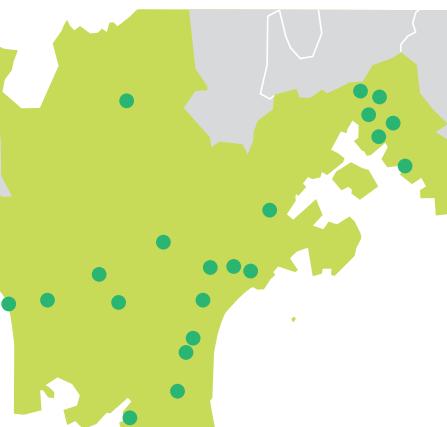


政策も人任せにしないで、
市民がそれぞれの現場から意見をよせ、
吳東弁護士と一緒にあって、
希望の持てる横須賀をつくるために
第1次マニフェストを発表しました。

市民の立場で誠実に、ふれずに15年

市民弁護士

横須賀生まれの49歳。弁護士として15年。



「縁の下の力持ちで働いています。

「みどりを守る住民運動でも

「縁の下の力持ちで働いています。

●被害者救済の大進歩も、多くの開発問題に取り組み、成果を挙げてきました。湘南鷹取・東浦賀・野比海岸・ハーランドetc.

●市まちづくり関連条例の制定でも

積極的な提案をし、具体的に市を動かしてきました。横須賀の緑と自然環境を今こそ大切に、そんな思いを、吳東弁護士とともに実現させましょう。



多重債務者の救済

●1996年にクレジット・サラ金被害者の救済を目的として、横須賀で「しおさいの会」が発足しました。立ち上げに力を注いだ吳東正彦弁護士は、手弁当で全国を駆け回り、被害の実態を講演し、横須賀での無料相談会に参加しています。

●被害者救済の大進歩も、多くの開発問題に取り組み、成果を挙げてきました。湘南鷹取・東浦賀・野比海岸・ハーランドetc.

●市まちづくり関連条例の制定でも

積極的な提案をし、具体的に市を動かしてきました。横須賀の緑と自然環境を今こそ大切に、そんな思いを、吳東弁護士とともに実現させましょう。

「セーフティネット都市」の実現を

●生活が大変な今、苦しい人の生活を足元から支える縁の下の力持ちとして、弁護士の知恵と力を発揮します。

吳東正彦さんは、
多重債務で苦しむ人を助けるために
大躍進している弁護士です。